

第31回 向日市文化財保護審議会会議録

- 日 時 平成23年7月15日(金) 午前10時00分 開会
午前11時30分 閉会
- 場 所 向日市役所 3階 大会議室
- 出席委員 和田 委員(会長) 片山 委員(会長職務代理) 大山 委員
小野村委員 川上 委員 川上 委員
若杉 委員 脇田 委員
- 欠席委員 杉原 委員
- 事務局 教育長 教育部長 教育総務課長
教育総務課主幹(建設産業部次長兼都市計画課長併任) (都市計画課担当課長併任)
文化財調査事務所長、課長補佐、総括主任
- 発掘機関 向日市埋蔵文化財センター事務局長
- 傍 聴 者 なし
- 会議次第
1. 開会
 - (1) 開会宣言
 - (2) 教育長あいさつ
 2. 役員の選出等について
 - (1) 会長選出
 - (2) 会長職務代理の指命
 3. 議題
 - (1) 向日市立向陽小学校北校舎建築に係る発掘調査において検出した遺構の取り扱いについて
 - (2) 平成22年度の主な文化財の取り組みについて

会議要旨 事務局	— 審議会の成立要件を発表 —
教育長	— 開催の挨拶 —
教育部長	— 7月1日付け人事異動と出席職員の紹介 —
	役員の選出等 委員の互選により、和田委員が会長に選出される。 和田会長から片山委員が会長職務代理に指名される。
会長	— 就任挨拶 —
会長職務代理	— 就任挨拶 —
事務局	以後の会議は、向日市文化財保護条例第45条第1項に基づき、会長に議事進行を願う。
会長	議題の確認。 事務局から報告願いたい。
事務局	2月7日の第30回向日市文化財保護審議会以後の、発掘調査の状況と検出遺構の取り扱いに係る予算を含めた現状を説明。設計図により、検出した遺構の柱掘方が、50cm以上保存できることを説明。
会長	設計図の細部について、再確認。
事務局	設計図等に基づき以下を説明。 (1) 新校舎入り口（昇降口）における、検出遺構の表示について説明。 (2) 新校舎入り口（昇降口）における、文化財の展示、活用について説明。 (3) 取り外した石組溝の部材を用いた、遺構の移築・復原について説明。 位置や規模等については、新校舎建築後、学校全体の活用、利用状況を勘案する中で、財源等を含め、現在検討していることを説明。
各委員	(新校舎入り口（昇降口）の遺構表示材の見本を確認)
事務局	新校舎入り口（昇降口）に設ける文化財の展示、活用の詳細について説明。
会長	文化財の展示、活用の配置について確認。 昇降口の右側のガラス窓前の展示ケースの2は、土器を展示するのか。

事務局	土器である。
会長	校舎に入ってきた時に正面に見えるものが、瓦の入った展示ケース1であり、その後ろに長岡京の文章の説明があるという理解でよいか。
事務局	はい。これらについては逆にすることも可能である。
会長	展示ケースの横に、複廊の復原の絵（イラスト）が描いてあるのか。
事務局	はい。
会長	これで、位置関係は理解していただけたか。
事務局	保存活用について再度説明。
会長	新校舎内における検出遺構の表示と文化財の展示、活用について説明いただいたが、説明板の内容は具体的になっていないということか。
事務局	はい。
会長	遺構の移築復原する内容については、新校舎の建築後のことである。 新校舎の昇降口の部分についての提案を今日いただいたが、ご意見等を伺う。 複廊のイメージがこれで分かるか。資料の掲示板1については、曲がり角の所がもっとはつきり分かった方が良くと思う。
委員	そのとおりである。少し分かりにくい。
会長	昇降口に入ってきた時に復元した絵（イラスト）があって、こういう所を歩いているということがイメージできるようにしてほしい。 展示ケースの配置にも、考慮が必要である。
委員	絵（イラスト）についても、理解が得られるものとしてほしい。
事務局	ご意見を踏まえ、設置場所、掲載するイラストについて検討、作成する。
会長	新校舎床面に表示した遺構と説明板のイラストが相互に関連して、より理解が得られるものとしてほしい。
会長職務代理	床面に表示した遺構の名称は、文字で示すのか。
事務局	展示する説明板の中に示す。床面に示すことは考えていない。
会長職務代理	表示する石組み溝の石の大きさは、発掘調査で検出したものと同じようなもの

	か。
事務局	そこまでは大きくはない。
会長職務代理	単に色が変わっているだけになってしまうが、それ以上の表現はしないのか。石のギザギザした感じの表現はしないのか。
委員	遺構を上から俯瞰して、写真を撮ったような形でイラストができないかという提案だと思うが。
事務局	床面に段差ができ、はがれやすくなり、つまずきが生じる。この部分は昇降口のゲタ箱、階段などの部分に相当する。石組み溝は平均75cmの溝幅であったので、この大きさでほぼ直線状に表示を計画している。
事務局	石目調のもので、できるだけ遺構に近いものにしたいと思う。 石組み溝と柱は、材質と色でできるだけ分かりやすい表現にしたいと考えている。
会長	石を見せないで一色にした方が良いと思う。
事務局	検討する。ただ、立体的なものまでは難しい。
会長	それは難しいと思う。 他にご意見等を伺う。
委員	展示物や説明板の内容は、定期的に入れ替えを考えること。
教育長	できるだけ、児童等が活用できるよう、ご指摘いただいた点に留意する。
会長	その点よろしくお願ひしたい。また、展示物も定期的に変えていただけたらと思う。 他にご意見等を伺う。 (意見なし)
	ないようでしたらこれで終わりとするが、複廊であると理解できるように石組み溝を移築、復原する課題は、新校舎が建築されてからの検討となるので、準備をよろしくお願ひする。 それでは、平成22年度の主な文化財の取り組みについて報告を願う。
事務局	「有形文化財の保護と防火、防犯」について、実施事業と執行経費を説明。 「史跡の維持管理」について、指定地等文化財用地の維持管理等実施事業と執

行経費を説明。

史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂の保全整備について、実施事業と執行経費を説明。

「埋蔵文化財の保護」について、実施事業と執行経費を説明。

「文化財の保護と広報普及、活用の推進」について、実施事業と活用実績を説明。

会長

報告についてご意見等を伺う。

他には、文化財の指定を増やしてほしい。候補をあげていただきたい。

会長職務代理

物集女城や寺戸大塚古墳の指定についてはどうか。

事務局

寺戸大塚古墳は、現在、史跡指定について検討するため、和田会長にもご指導いただきながら、京都府に取りまとめている。

委員

寺戸大塚古墳は私有地だと思うが、前方部が削平されているのが気になる。

委員

現状で減るのを止めるような方策はないか。

事務局

私有地であり、筍栽培が行われているため、難しい。

会長

今は止まっているか。

事務局

筍生産のため、土の入れ替えは行われている。

委員

後円部の墳形は素人目からも維持されているが、前方部は削平され減少している。

事務局

所有者と協議をしたく思う。

委員

史跡指定ができるといいが。

会長

京都府がとりまとめながら国の調査官に来ていただき、早く指定していこうとしている。

しかし、古墳がたくさんあるので難しい面がある。

それぞれの行政から、保存について、主張していければ良いと思う。

他に何も無いようなので、これで閉会する。

教育長

— 閉会の挨拶 —

(午前 11 時 30 分閉会)

